

製造現場での派遣労働者の派遣期間について —ある工場における実態調査から—

高田好章（所員）

- ・ある会社（A社：化粧品下請製造会社）での、派遣会社からの派遣費用の請求書とその明細という1年間にわたる資料を詳細に分析することにより、個別派遣労働者の派遣期間を軸に、製造現場における派遣労働の実態に迫ってみたい。

1) 派遣会社のA社への派遣状況外観

[参照：表1] 派遣会社からの請求額 2001年4月から2013年3月まで]

- ・派遣会社名は、適当なアルファベットでの記号で示した。
- ・派遣先の仕事：化粧品製造ラインの最後の工程：仕上工程で、社員・パート等と混在して、現場班長の元で仕上作業行う。
- ・派遣は、物の製造が許可される前から行われていた：2004年4月に解禁
- ・それまでは、TW社から「完成請負費」「追加請負費」で請求 → [回覧資料]
- ・解禁後、TS社等、順次増えていく。請求金額も増加。毎年度の合計参照：1千万→3千万→9千万→6千万

[参照：表2] 派遣労働者数の推移 2001年4月から2013年3月まで]

- ・毎月10数名から30数名で変動。最大で60名。

2) 派遣費用と労務費の関係

[参照：表3] 労務費に対する派遣労働費用の割合 2004年4月から2013年3月まで]

- ・月次決算資料が揃う2004年から算出：月次決算の労務費部分と派遣会社請求額から消費税部分を控除した部分での割合：2%、4%から、最大10%を超えるときがある。おおよそ5%台で最近は推移。

3) 派遣要請と製造ライン

[参照：表4] A社のある工場の製造ライン配置表 2012年10月]

- ・毎月の生産予定に応じて、3工場棟17ラインで生産予定の製品に必要な人員数を見積もって、その日の必要人員数に対して、現有数（正社員・期間社員）にパート・アルバイトを加えた数から7名（有給休暇取得者見積もり：1割、その後10に引き上げ）を引いたのが不足数となる。それを埋めるのが派遣労働者であり、各社に振り分ける。ただし、1か月の派遣要請数は、派遣会社との契約により、あまり変動できない。それでも不足・超過が出るが、毎日適当に配置換えして、適応させる。

[参照：表5] 製造人員必要数に対する人材派遣人員算出表：各月要請数]

- ・上記表4の表から毎月20日またその前後の人員を取り出して、派遣比率をみた。
- ・近年は、人員数で10%から19%の間を前後している。定着している様子。
- ・なお、「社内振替」は他部署からの一時的配置換え、「応援」は他事業所からの応援、「補充予定」は、期間社員・パートの募集で対応、という意味

[参照：参考資料4] 派遣労働者の産業別人員割合 2003年と2007年比較]

- ・産業別にみた場合、製造業で、2%から9.8%に上昇している。JIL調査

4) 生産数と派遣数の関係

[参照：表6] 生産数と派遣数との関係：2005年度～2012年度]

- ・実数に対して、指数は各年度のそれぞれの平均値を100として見た場合の指数。
- ・グラフでは、長期のグラフでは生産数にたいして、派遣数の上下が激しい
- ・単年度で、指数で比較した場合、おおよそ同じ動きをしている。特に最近2年間はほとんど同じ動きをしている。

5) 派遣労働者個人の働き期間

[参照：表7] 派遣労働者の個人別就労時間詳細表：2011年度、2012年度]

- ・個人名は伏せて、各会社記号に派遣順に番号をつけてしめた。
- ・毎月の労働時間は所定労働時間のみ、残業・休日出勤時間は省いている。
- ・各派遣労働者の月数は就労月の合計、月数%は所属派遣会社の派遣月数に対する比率。時間計は所定労働時間の合計、時間%は所属派遣会社のその月の最大労働時間の合計に対する比率。派遣会社合計欄の%欄は、派遣労働者の平均値。
- ・それぞれの派遣会社の平均値をみると、月数で20%から30数%がほとんど。派遣労働者は、所属する派遣会社の派遣期間のうち2割から3割出勤していることになる。今度はそれをもう少し細かく就労時間でみると、就労時間では13%台から20数%で、30%にはいかない。つまり、労働時間でみると、それぞれの派遣労働者は派遣期間のうち、3割も働いていないことが分かる。

[参照：表8] 派遣総人員数、派遣労働者の就労月数・就労時間の年度平均]

- ・2001年の請求書の明細では個人名が不確かなため、集計から省いた。
- ・上の表によると、この11年間に、総数として764人の派遣社員がこの工場で働いた。およそ120人から140人が必要な工場に、これまで700人以上の人達が派遣社員として働いたということになる。表にはないが、この間、退職者は正社員で46名、期間社員で103名である。アルバイトは500名以上に上るが、これは学生バイトも入っているのも不確かである。期間社員との比較でみると、あまりにも大きな人数である。
- ・下の表では、表7の派遣会社毎の集計欄にあった、月数%と時間%を、代表的な3つの派遣会社に絞って、年度ごとに11年間の数字をあげてみた。
- ・月数%では、派遣期間の2割から3割以上就労しているが、働いた時間でみる時間%では、3割・4割になる年度少なく、ほとんどが2割前後に推移している。
- ・つまり、派遣労働者は派遣期間のうち、2割程度しかこの工場では働いていなくて、順送りに別の派遣労働者に替わっていつている、という実態である。
- ・これは、表7を見れば、よくわかる。毎月連続して派遣されている労働者はいるが、ほとんどは2～3カ月で交代して派遣されている。

6) 外部調査との比較

[参照：参考資料1] 派遣業務の契約期間 J I Lの調査 2008年]

- ・外部の調査を参照してみる。J I Lの2008年の調査では、「物の製造」では、通算では1年～2年が半数を占めるが、ここの契約別では、1か月～3か月と6か月～1年が一番多くなっている。

[参照：参考資料2] 派遣契約期間 J I Lの調査 2011年]

- ・Aの上のグラフでは、登録型派遣は1か月～3か月を50%になっている。Aの中の上表でみると、製造業務系では1か月～3か月が一番多く、通算の派遣期間（下のグラフ）では、登録型派遣では1年～3年の通算契約期間となっている。
- ・Bの上表では、現在の派遣先の通算契約期間をみているが、「製造業務系」では3か月～1年と1年～3年が大きくなっている。下の契約ではなく派遣期間であるが、「製造業務系」ではやはり3

カ月～1年が一番多くなっている。

[参照：参考資料3 契約期間と就労期間 派遣労働ネットワークの調査 2011年]

- ・派遣労働者へのアンケート調査からの契約期間と就労期間の数字である。2001年から2011年までの比較ができる。
- ・契約では、3カ月が圧倒的に多いが、2001年からの変化をみると、契約期間が徐々に長くなっている。しかしながら、2008年と2011年を比べれば、逆に短くなりつつある。
- ・就労日数でのアンケートでは、230日～259日が一番多い数字となっている。
- ・結局、1か所に派遣されるのではなく、1年間に何箇所か移動しているのがわかる。

7) 派遣労働者と残業

[参照：表9 個人別所定・残業時間集計表 月別 2012年度]

- ・これまでの表では、個人ごとの残業と休日出勤を、非常に大きくなるので、省いていた。
- ・ここで、2012年度だけ、それも2社のみ残業時間と休日出勤時間との合計値を示した。
- ・基本的には、多くの派遣労働者は残業をしている。一部には休日出勤もしている。それは製造ラインにとって、抜けては困る立場で働いていることを示している。
- ・この残業を誰の命じたのであろうか。おそらく派遣先の責任者であろう。その日に消化しなければならない数量が完了できていなければ、その時点で残業ということになる。その時に派遣労働者は誰から命じられて残業するのであろうか。

8) 登録派遣労働者の派遣会社遍歴

[参照：表10 派遣労働者の派遣会社間移動 別の派遣会社化から派遣された事例]

- ・調査していくと、面白いことに突き当たった。同じ名前の人がつき当たった。さすがに3社はいないが、2社の派遣会社から別の時期に、同じ工場に派遣されてきている。
- ・長期間の間があって、5年以上後に別の派遣会社から派遣された事例がある。
- ・逆に、たった3ヶ月後には、別の派遣会社から派遣された事例がある。このとき、その職場ではどのような反応を示すのであろうか。しかし、制服は派遣先のものでどこの派遣会社かは、一目では判らない。
- ・登録型派遣では、派遣労働者はいろいろな派遣会社に登録しているので、たまたま同じ職場に別の派遣会社から派遣されることは考えられる。
- ・もっともドラマチックなものは、同じ月に別の派遣会社に移った事例、それも2人同時に。これは完全に示し合わせたもので、その会社の営業マンがこの2人を引き連れて独立したものである。その後、この会社の派遣数が驚異的に増えて、元の派遣会社は急速に減っている。

9) 派遣労働者の派遣期間について：

- ・以上、派遣期間をA社の事例をみて、また外部調査でも比較してみると、ほとんどは3カ月以内に派遣労働者はどこか別の職場か、あるいは休息（失業）している、ということになる。
- ・いま、派遣をめぐるのは、「キャリアパス」という言葉が盛んに述べられている。仕事のスキルを磨き、次の職場までにキャリアアップさせる、というのである。
- ・はたして、3カ月の製造経験でキャリアアップして、キャリアパスの一環として有意義な働き方をしたのであろうか。